

第27回

うつのみやこども賞だより

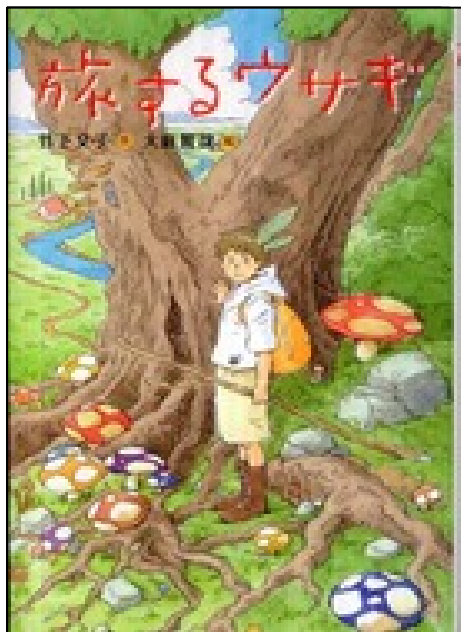
平成22年度 第10回

市内5・6年生の選定委員さしてんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『旅するウサギ』

竹下文子／作 大庭賢哉／絵（小峰書店）



～読んだ本の感想より～

- ウサギが旅する間の出来事が日記のようにかかれていておもしろかったです。
- ウサギの旅先でのおもしろい出来事やいろいろな人たちとのふれあいがおもしろかった。
- ウサギが旅しながら様々なことを知っていくように私もこの本から色々なことを学ぶことができました。
- 最後の家出の話ではとても感動しました。
- 私もウサギみたいに、いろいろな場所でいろんな事に出会ったり感じたりしてみたいなと思いました。
- マシュマロ畑に行ってみたいです。
- この本の主人公のウサギは、本当はウサギなのか人間なのか分からないけれども、ウサギがいろいろな人に助けられながら旅

していくのがおもしろかった。

『おじいちゃんが、わすれても…』 大塚篤子／作 （ポプラ社）

- がんばって練習してやっと出られる試合をあきらめて、迷子になったおじいちゃんを探した杏がすごいと思った。
- ^{にんぢしょう}認知症のおじいちゃんに対する杏の気持ちに感動した。
- さと丸がおじいちゃんを助けるためにほえたところが心に残った。
- 杏とおじいちゃんのきずなに感動しました。
- 認知症の祖父に気づかい、話を合わせる家族の姿にすごいなと思った。
- おじいちゃんのために大会を休んだり素直にあやまったりできるのは家族だからじゃないかと思った。

『風よ！カナの島へ』 森夏月／作 （国土社）

- 太一が天の島に行ったことで泳げるようになってよかった。ケンも姿は現さなかったが太一や夏菜を助けてくれる所がやさしいと思った。
- 夏菜は島のことをずっと忘れられなかったのは、その場所でたくさんの思い出を作ってきたからではないかと思った。カナの島の海の美しい風景を1度でもいいから見て目に焼きつきたいと思った。
- 夏菜がオジイと仲直りできたところがよかった。
- 心がふんわりあったくなるようなお話でした。
- ハブに襲われそうになった太一をケンが助けてくれる所がよかった。
- 夏菜が島に行った時にオジイは夏菜とあまり話さなかったのに、帰るときには2人が仲良くなって良かったです。

『竜の木の約束』／濱野京子作 （あかね書房）

- 桂があまり話さない性格だったのに、マコトと会いまことと仲良くなっていくのがいいと思いました。まことと桂のような友達になりたいと思いました。
- 桂とまことが竜の木で会い、桂はマコトが男子にもなれることを知りおどろきながら仲良くなっていくのが良かった。
- まことが竜の木に登り、「マ・コ・ト！」と言うと男の子のマコトになってしまうのがびっくりした。
- 木にいた男の子が女の子だと分かったときは、「どうして？」という思いとこんなこと本当にあるのだろうかと思った。